

受益者の皆さまへ

2022年9月26日

**弊社ファンドの基準価額の下落について（9月26日）**

下記公募ファンドの9月26日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

**【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】**

ファンド名	9月22日	9月26日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	16,700円	15,362円	▲1,338円	▲8.0%

**【為替】**

為替レート	9月22日	9月26日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	144.51	144.02	▲0.49	▲0.3%
カナダドル/円	106.97	105.80	▲1.17	▲1.1%

\* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

**【株価】**

株式指数	9月21日	9月23日	前営業日比	騰落率
S&P500 エネルギー株指数	584.21	542.61	▲41.60	▲7.1%

**基準価額下落の背景と今後の見通し**

インフレ抑制を目指した主要国の金融引締め政策による世界的な景気悪化懸念に加えて、英国の大型減税策の発表が同国財政の持続可能性に対する懸念を強めました。英国債主導で主要国の長期金利が大きく上昇したことが嫌気され、世界的に株式市場は大きく下落しました。さらに、世界的な景気悪化懸念を理由にエネルギー需要が鈍化するとの見方が強まり、原油価格は大きく下落しました。9月23日(金)のNY原油先物価格(期近)終値は、ロシアによるウクライナ侵攻前の2022年1月以来となる1バレル=78ドル台後半まで下落しました。これらを嫌気して、エネルギー関連株式の株価も週末にかけて大きく下落しました。

為替市場では、日米金利差拡大を理由に9月22日(木)、欧州時間では1ドル=146円近辺まで円安が進行したものの、24年ぶりに政府・日銀が為替介入(ドル売り円買い)を実施したことで、一時140円台前半まで急速に円高に振れました。しかしその後、週末の米国市場、さらに週明け9月26日の東京市場では円安方向に戻し、1ドル=144円近辺での推移となりました。

今後の見通しについては、米国での国内景気及び雇用情勢への悪影響を容認してまでも、インフレ抑制に向けた金融引き締め策が継続する見通しのため、米国株式市場は不安定な展開が予想されます。

また、ウクライナ侵攻での対ロシア経済制裁への対抗措置として、ロシアが欧州向けのエネルギー供給を抑制していることで、欧州のエネルギー在庫水準は厳しい状況にあり、今冬の気温予測次第では一時的にエネルギー価格が上昇する場面も予想されます。主要国のインフレ抑制に向けた金融引締めの継続で、世界景気の悪化と共に、エネルギー需要の鈍化が見込まれます。そのため、エネルギー関連株式については、しばらく慎重な見方が必要と考えられます。

**<投資信託に関するご注意>****■ 投資信託に係わるリスクについて**

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

**■ 投資信託に係わる費用について**

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

**<当資料に関するご注意>**

■本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

**キャピタル アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会